

第6学年 図画工作科 学習指導案

日時 平成16年6月30日(水) 5校時
児童 男15名 女13名 計28名
指導者 山村 淳

1. 題材名

「旧校舎ビフォーアフター」A表現(1)(材料や場所などをもとにした楽しい造形活動(造形遊び))

2. 学習の主題

校舎内の様々な場所の特徴を生かして発想し、身近な材料を生かして、友人とともに自分たちの空間づくりを楽しむ。

3. 題材について

(1) 題材について

本題材は、第5学年および第6学年の内容のA表現(1)「材料や場所などの特徴をもとに工夫して、楽しい造形活動をする。」に対応した題材である。

新しい校舎の隣にある、取り壊されずに残っている古い旧校舎を、「明るく楽しいイメージの場所に変えていきたい。」という思いを広げて、窓や壁面を飾ったり、空間を利用して不思議なものをつくりたりするなど、学校の環境を変え、学校生活を楽しいものにしていく活動である。

旧校舎の中は階段や細長い廊下、長机が置かれた教室、行事で使う用具などがあり、変化があつて造形的な活動がしやすい空間になっている。子どもたちがこの場所からテーマに沿って自由に発想し、思いついたアイデアをもとに、ダンボールや布などの身近な素材を生かしてつくり、つくったもので楽しんだりできるようにしたい。

また、この活動を通して素材や空間に対する感覚を豊かにするとともに、これまでの学習を生かした力を総合的に働かせて造形表現活動を行い、のびのびと自分の思いを実現する活動が期待できる。さらに、グループで活動することによりお互いの思いを交流しながら協力して進め、場所やもの、環境を生かした活動が一層広げられると考えている。

(2) 児童の実態

児童は、前学年まで「わたしの中の風景(絵に表す)」や「ゆめの商店街は大売り出し(工作に表す)」等の題材の中で、自分の感じたことを色や形で表現することを楽しんできた。しかし、自分の表現に自信が持てない児童や、創造的に表現することが苦手な児童もいる。

「造形遊び」に関わる学習では、地域に伝わる民話「岩じゃ山の大蛇」を運動会で全校表現するために、学年2クラス(55名)で巨大な大蛇(全長十数メートル)を作り演技する活動を行った。しかし、これまで全体として「造形遊び」としての造形活動の経験が不足している。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、子ども一人一人が表現したいことをもとに、これまでの造形体験を生かして表現したり新たな表現を試みたりして、つくりだす喜びを味わうことができるようにしたい。具体的な手だてとして、以下の4点を考えている。

まずは、「旧校舎ビフォーアフター『旧校舎に〇〇が……』』という題材名とテーマを設定することにより、題材からの楽しい発想とともに、課題が整理され、その場所をさらにおもしろくできないかを考えることができるようにする。

次に、活動に使う材料も自分たちの家庭などから集めさせるとともに、実際の場所を回りながらじっくり話し合わせる。子どもたちが遊び心をもって実際のさまざまな場所や材料にかかわっていくことから豊かな発想を促すとともに、活動への興味・関心を高めていきたい。

また、各段階において子どもの実態をとらえて意図的な参考作品を用意し、それらの工夫やよさを味わう

ことにより、発想を広げたり、技能に気付かせたりして、課題解決の見通しがもてるようにする。

さらに、この題材では活動後に変身した旧校舎に1・2年生を招待して楽しんでもらう。自分たちの活動を見せる相手への意識を大切にすることにより、単なるおもしろさでなく、誰が見ても楽しく美しいと思える色や形などのさらなる工夫を見出していくことができるようにしたい。

最後に、一人一人の子どものこだわりや、そこに込められたメッセージというものを大切にしていきたい。それぞれの子どもが選んだ場所、つくろうとするものには、大きなものもあれば小さなものもある。どちらにしても、その子どもが何にこだわり、そこからいかに発想を広げているかを重要視し、その思いの実現のために支援していきたい。

4. 題材の目標

- (1) 自分なりの思いをもって、楽しく意欲的に造形活動に取り組もうとする。
- (2) 学校のいろいろな空間の特徴を見つけ、それをもとに自分らしい発想を広げ、つくるものの楽しさや美しさを考えて、作品を構想する。
- (3) 自分の思いの実現に向けて、効果的な材料や用具、つくり方を選びながら表現する。
- (4) 自分や友だちの表現したものを見合い、いろいろな表し方の違いや思い、意図、工夫を感じ取る

5. 題材の学習計画と評価計画

(1) 題材の評価規準

【A 表現 (1)】

- 《 関心・意欲・態度 》 進んで必要な材料を探したり、自分なりの思いをもって納得するように表したりして、楽しく意欲的に造形活動に取り組もうとする。
- 《 発想や構想の能力 》 学校のいろいろな空間の特徴を見つけ、それをもとに自分らしい発想を広げ、つくるものの楽しさや美しさを考えて構想する。
- 《 創造的な技能 》 場所や材料などの特徴を生かし、自分の思いの実現に向けて、これまでの経験を生かし、効果的な材料や用具、つくり方を選びながら表現する。

【B 鑑賞 (1)】

- 《 関心・意欲・態度 》 自分や友だちの表現したものを見合い、いろいろな表し方の違いやおもしろさなどを見つけ、自他の作品のよさを味わおうとする。
- 《 鑑賞の能力 》 自分や友だちの表現したものを見合い、いろいろな表し方の違いや思い、意図、工夫を感じ取り、友だちと意見を交換したりして、感じたことや考えたことを伝え合っている。

(2) 学習活動における具体的評価規準と評価計画

次 (分)		学 習 内 容	評 価 規 準	A 十分に満足できる C (努力を要する) への手立て
1 次 (15)	出 会 い	野外美術や空間を利用した美術作品を見ることにより、場と空間の関わりで表現する楽しさを感じる。	【 関 ①】 場や空間と表現とのかかわりに関心を持ちその可能性に気づいている。 【鑑関①】 美術作品を見て感じ取ったことを、友だちと話し合おうとしている。 【鑑能①】 様々な造形作品の意図や特徴から自分の表現のヒントを見つけている。	【関①A】 場や空間と表現とのかかわりに関心を持ち、その可能性に気づき、積極的に発表している。 Cへの手立て→友だちとの発想の交流。 参考作品からのヒント。
2 次 (45)	試 す	学校(旧校舎)のいろいろな場所を見て回り、自分の表現したい場所を決めて構成を練る。	【 発 ①】 校内の場や空間の特徴から、造形活動のイメージを広げている。 【 関 ②】 進んで多くの場所をまわり、自分の発想を広げようとしている。	【発①A】 校内の場や空間の特徴から、造形活動のイメージを広げ、具体的に構想している。 Cへの手立て→友だちとの発想の交流。 場の特徴についての対話

3 次 (30)	広 げ る	材料を工夫し、場の特徴を生かしながら、制作を進める。	<p>【創①】自分の思いの実現に向けて、材料や用具、作り方を工夫して表している。</p> <p>【関③】友だちと協力し合い、自分なりの思いをもって取り組んでいる。</p> <p>【発②】実際の活動の中で、場や空間にあった新たな発想や工夫を考え出している。</p>	<p>【創①A】自分の思いの実現に向けて、材料や用具、作り方を工夫し、効果的に表している。</p> <p>Cへの手立て→友だちとの発想の交流。 参考作品からのヒント。 場の特徴や材料についての対話。</p>
(45)	本 時	活動を振り返りながら、材料を工夫し、場の特徴を生かしながら、制作を進める。	<p>【鑑関②】友だちの作品の材料や、できあがる過程に目を向け、関心を持っている。</p> <p>【鑑能②】参考作品から、場所、材料、つくり方、イメージ等に目を向け、組み合わせからできる空間の美しさやおもしろさ等について気付いたことを話している。</p>	<p>【関③A】友だちと協力し合い、自分なりの思いをもって、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>Cへの手立て→個別に相談。声かけ。</p>
(25)		活動を振り返りながら、材料を工夫し、場の特徴を生かしながら、制作を進め、作品を仕上げる。	<p>【創②】安全を配慮し、材料や道具を工夫してつくることができている。</p> <p>【創③】校内の場や空間の特徴を作品に生かしている。</p>	
4 次 (20)	よ さ を 味 わ う	できあがった作品を見合い、表現の工夫や楽しさ、思いや意図など、お互いの作品のよさを味わう。	<p>【鑑能③】自他の作品を見比べたり、友だちと意見を交換したりして、感じたことや考えたことを伝え合っている。</p> <p>【鑑関③】自他の作品を見比べ、違いや共通点、作品のよさや工夫を見つけようとしている。</p> <p>【関④】場や空間の特徴を生かした表現の楽しさやよさを感じている。</p>	<p>【鑑③A】自他の作品を見比べたり、友だちと意見を交換したりして、感じたことや考えたことを、自分なりの言葉でたくさん伝え合っている。</p> <p>Cへの手立て→友だちとの感想の交流。 具体的な視点を示す。</p>

6. 準備

《教師》材料：段ボール紙、各種の紙類、セロハン紙、ビニールテープ、テグス、木ぎれ、針金など
道具：段ボールカッター、接着剤（木工用ボンド）、ガムテープ、セロテープなど

《児童》材料：身近材料

道具：はさみ、のり、カッター、水彩絵の具など

7. 本時の学習指導

(1) 本時の目標

- 自分の思いの実現に向けて活動を振り返りながら、材料や用具、作り方を工夫し、場の特徴を生かして制作を進めることができる。
- 友だちと協力し合い、自分なりの思いをもって、意欲的に取り組むことができる。

(2) 本時の展開

段階	学習内容と活動 予想される児童の反応	指導上の留意点 評価(評価◆)
導入	<p>1. 題材名や前時の活動を想起する。 ○本題材名とテーマを確認する。</p> <p>「旧校舎ビフォーアフター『旧校舎に〇〇が……』」</p> <p>○前時の活動をふりかえる。 ・カラーセロハンを窓に貼っていました。 ・水を表すために、青いビニールテープを使っていました。</p> <p>2. めあてや本時の活動内容を確認する。 ○本時めあてを確認する。</p> <p>場所の特徴を生かして、材料を工夫し、自分の思いを表現しよう。</p> <p>○場や空間の特徴を生かした表現を鑑賞し、感じ取ったことを話し合う。 ・天井や壁に 青い布を 張っています。 ・大きな機関車を 吊しています。</p> <p>○安全面や本時の活動内容を確認する。</p>	<p>・前時までの計画に従い、材料と用具の準備をすませしておく。</p> <p>・確認のため、題材名とテーマを一斉読。</p> <p>・児童の作品を数枚見せることにより、前時の活動を想起できるようにする。</p> <p>・確認のため、めあてを一斉読</p> <p>・参考作品を掲示することにより、本時の活動の手掛かりとできるようにする。</p> <p>◆参考作品から、場所、材料、つくり方、イメージ等に目を向け、組み合わせからできる空間の美しさやおもしろさ等について気付いたことを話している。 【鑑能②】(発言) ・友だちの見方や感じ方をもとに、視点を明らかにしながら鑑賞させる。 ・作業の安全については、具体的に注意する。</p>
展開	<p>3. 表現する。(グループごとに制作を進める。)</p> <p>○場所の特徴を生かし、材料を工夫して、自分の思いを表現する。</p> <p>・～～を並べてみよう。 ・～～を吊してみよう。 ・～～を敷き詰めてみよう。 ・～～を囲ってみよう。 ・～～を巻いてみよう。 ・どうやってくっつけようかな? ・どんな材料を使おうかな? ・～～したら、すてきだね。 ・～～したら、おもしろい形(いい色)になった ・こんなふうにすれば、もっと楽しくなるよ。</p>	<p>・自分の思いが効果的に表現できているか、実際に設置しながら検討するようアドバイスする。</p> <p>・計画に縛られすぎないように、新しいアイデアが出たら積極的に認め、いろいろな表し方を試すことができるようにする。</p> <p>・友だちや他のグループの制作にも目を向け、よいところは進んで取り入れるように声がけする。</p> <p>◆思いの実現に向け、材料や用具、作り方を工夫して表している。【創①】(途中作品、行動観察、会話やつぶやき、学習カード)</p> <p><Aと判断できる具体的な様相の例> 思いに合わせて、いろいろな表し方を試そうとしたり、作り直したりするなど自分が納得いくまで進んで試みようとする。(継続的)</p> <p><Cへの手立て> 友だちの活動の紹介。場の特徴や材料についての対話。</p> <p>◆協力し合って、楽しく取り組んでいる。【関③】(表情、行動観察、会話やつぶやき)</p> <p><Aと判断できる具体的な様相の例> 自分の思いに合わせて、その場に合った材料を探したり、楽しく変身できそうな場所を選んだりし、楽しい造形活動をしようとする。(主体的)</p>

<p>終末</p>	<p>4. 振り返りをする。</p> <p>○自己評価をする。</p> <p>○作品のよさを味わいながら、作品を鑑賞し合う。</p> <p>・Aグループの作品で キラキラした材料が 星のようできれい。</p> <p>・Bグループの作品のジャングルが おもしろそう。</p> <p>○感想を発表し合う。</p> <p>・段ボールをカッターで丸形に切り抜くのが難しかったけど、うまくできた。</p> <p>・C君の窓を水槽にしようというアイデアがすばらしかった。</p> <p>・次の時間は、動物だけだとつまらないので、草や木をつくりたい。</p> <p>5. 次時の活動への見通しを持つ。</p>	<p>・学習カードを用意し、活動を振り返り自己評価、相互評価できるようにする。また、次時の活動への意欲を喚起する。</p> <p>・友達の良い作品のよさを見つけたり、自分の活動を振り返ったりすることにより、思いをさらに温めることができるようにしたい。</p> <p>◆友だちの作品の材料や、できあがる過程に目を向け、関心を持っている。【鑑関②】(感想発表、学習カード)</p> <p><A と判断できる具体的な様相の例></p> <p>自分や友だちのつくりつつあるものに関心をもって見ようとし、その造形から、アイデアの楽しさや工夫などに共感し、それを大切にしようとする。</p> <p>・次時の活動を知らせ、意欲を喚起する。</p>
-----------	---	--

(3) 本時の評価

- ・ 材料や用具、作り方を工夫し、場の特徴を生かしながら作ることができたか。
- ・ 友だちと協力し合い、自分なりの思いをもって、楽しく取り組むことができたか。

旧校舎ビフォーアフター『旧校舎に〇〇が……』

月 日 ()

6年 組 番 名前

1. 今日の活動内容

	今日の自分のアイデアや工夫、使った道具や材料、つくったものなど、具体的に書き留めましょう。図や絵でも表しましょう。

2. 活動の振り返り

<p>自己評価したら、同じグループ内でカードを回し、お互いに評価しましょう。 友だちのよかったところを、どんどん見つけよう。</p> <p>「よくできた」と思うところに〇を書き入れましょう。</p>	自己 評 価	友 だ ち か ら			
		よ り	よ り	よ り	よ り
【関】友だちと協力して活動できたか。					
【発】アイデアを思いついたり、楽しく工夫したりできたか。					
【創】場所の特徴を生かし、材料や用具を選んで使えたか。					
【鑑】友だちや作品のよさを見つけることができたか。					

3. 感想 と 次回の活動予定

<p>感想 楽しかったところ、うまくできたところ、友だちのよさ、友だちのアイデアや工夫、自他のグループの作品のよさ、…など</p>	<p>次回の活動予定 (次回必要な材料、用具、改善点、構想……など)</p>

わかる授業評価カード

造形遊びの評価をしてみましょう。

学校名() 氏名()

学級担任になったつもりで山村学級の児童の本時の活動の様子から、発想・構想や創造的な技能などの視点で児童のよさを見つける評価をしてみましょう。そして、研究協議で山村先生に伝えてください。

観 点	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力					
児童に自己評価させる項目の文	【関】友だちと協力して活動できたか。	【発】アイデアを思いついたり、楽しく工夫したりできたか。	【創】場所の特徴を生かし、材料や用具を選んで使えたか。	【鑑】友だちや作品のよさを見つけることができたか。					
本時の学習活動における具体的評価規準 (B)	協力し合って、楽しく取り組んでいる。		思いの実現へ向け、材料や用具、つくりかたを工夫して表している。	友だちの作品の材料や、できあがる過程に目を向け、関心をもっている。					
A と判断できる具体的な様相の例	自分の思いに合わせて、その場にあった材料を探したり、楽しく返信できそうな場所を選んだりし、楽しい造形活動をしようとする。		思いに合わせて、いろいろな表し方を試そうとしたり、つくり直ししたりするなど自分が納得いくまで進んで試みようとする。	自分や友だちのつくりつつあるものに関心をもって見ようとし、その造形から、アイデアの楽しさや工夫などに共感し、それを大切にしようとする。					
	児童名	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント
1									
2									
3									
4									
5									